



火山はいつ噴火するかわかるの

はっきりわからない

火山がいつ噴火するのかわかるかを、予測することができたら、噴火による被害を防いだり、被害を大きくしないためにも、重要なことです。

ふつう、噴火の前には、火山の近くで小さな地震(火山性地震)が、たびたび起こったり、地盤がもり上がったり、かたむいたりします。

このような現象があるときは、火山が噴火する可能性がある、と予測されますが、その噴火がいつ起こるかについては、今のところ、まだはっきりわかりません。

また、数十年から数百年の周期で、活動が活発になる火山もありますが、火山性地震が起きて、火山が噴火しないこともあり、噴火を予測することは、たいへんむずかしいのです。

地震を予知する方法

地震が、起きるのを前もって知ることを、地震の予知といいます。予知には、長期予知と短期予知があります。

長期予知では、火山がつくったマグマの性質や、火山のおいたちを調べたりします。すると、火山の噴火のタイプや、噴火の時期を推定するデータ(資料)になります。

短期予知では、火山性地震の連続した観測です。火山性地震は、マグマの活動を直接、伝えるからです。また、火山付近の土地がもり上がったり、かたむいたりするようすを機器を使って調べます。(監修・国司 真)

